

(平成 31 年 1 月 10 日集計)

## I. 概況

内閣府が 12 月 20 日に公表した月例経済報告で、「景気は緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある」としている。

一方、県内中小企業では、前年同月比で景況・売上・資金とも悪化し、前月比では景況・売上は改善した。年末で売上増であっても収益に結びつかないなどの声も多く聴かれるなど、県内中小企業の経営環境は依然として厳しい状況が続いている。

## II. 業種別状況等

### <製造業>

#### ① 食料品

12 月では、暖冬の影響もあり昨年に比べ 2 倍以上の出庫数量であった。生産についてはパート不足が昨年から続いており目標数には達していない状況です。

#### ② 印刷

夏からの数カ月と比べると、12 月は年末需要により多忙な月となったが、利益に結び付いておらず、受注のための価格低下が足かせとなった。

#### ③ 鉄鋼・金属

1 月度は海外大口受注が入っていること、小口案件が複数入っているため 12 月度に比べると売上・収益は若干ではあるが増加する。1 月度の下旬からは 2 月度の大口案件に対応すべく生産体制を整えて行く必要がある。

#### ④ 一般機器

年末特需で忙しい反面、1 月の反動の幅が気になるようです。このところ施設の見直しを図られ老朽化した屋根等の修復を行っている組合員企業がでてきています。工場の建物はアスベストを含んでいるものが多く修復には時間と費用を要しています。

#### ⑤ 電気機器

12 月は、前月に比べ操業日数は減少しているが売上は同等の見込みである。国内自動車販売は、前年同月比、軽自動車は 3.6%増加したものの、普通乗用車が 4.4%減少し新車販売台数は 1.7%減少した。一方、米国の自動車販売台数は、減税効果で個人所得が増え、需要を刺激したことやガソリン価格の低下などにより前年同月比 1.5%増加した。

#### ⑥ その他

11 月後半から 12 月にかけて僅かですが売上が増加しました。春の釣りシーズンに向けて各社は新製品の販売等で売上増加を図る工夫をしている時期ですが、一般消費者の購買意欲や業界の動向は必ずしも良好とは言えません。

## <非製造業>

### ⑦ 卸売業

年末年始と廃業する組合員もあり業況はそれだけ厳しい。

### ⑧ 小売業

12月には、天候も暖かい日が続き衣料品を中心に大苦戦。全体的にも客数が減少傾向で厳しい状況が続いている。

### ⑨ 商店街

先月に続き、暖冬の影響もありファッション関係を中心に、ボーナス、クリスマスセール、商店街全体の歳末セール等の盛り上げに欠け全く低調で期待外れの12月でした。消費者動向の変化をつくづく実感します。

### ⑩ サービス業

11月に入りズワイガニ(松葉カニ)の解禁により観光客入込数増加に伴い売上増加。12月に入り団来客数(ツアー)の減少により売上げ減少。天候には恵まれましたが入込数増加には繋がらず。

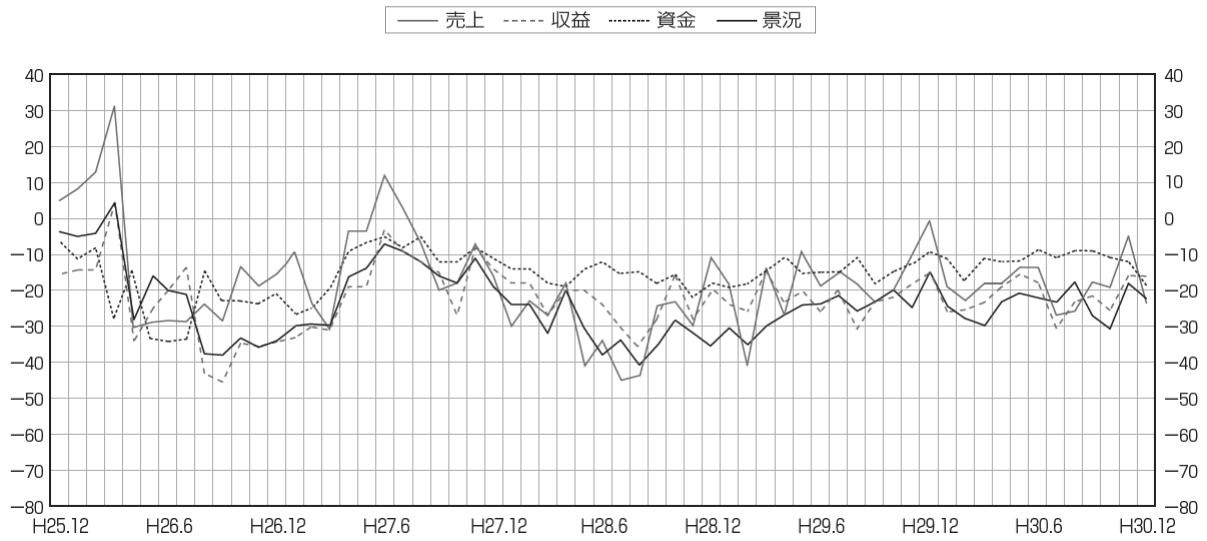
### ⑪ 建設業

年末ということもあり、修繕の依頼がとて多い月でした。今年も1500件を超える問い合わせの電話があり、修繕業務に登録している組合員は多忙で休みも取れないという声も聴きました。

### ⑫ 運輸業

予想通り、年末のトラック(ドライバーを含む)不足による混乱はかなりのものであった。日程の延期等、荷主サイドの協力が例年より顕著になってきたとの情報も多く聞かれたが、結局、最終的にはドライバーに多くの負担を掛け、凌ぎ切ったというのが実情のようだ。我々の業界は猶予期間があるとはいえ、働き方改革関連法案施工による長時間労働の是正という難題に取り組まなければならないのに、こうしたその場凌ぎで一杯一杯の状況が続いているようでは、改革の糸口さえ見つけられないのではないかと懸念される。

# 景気動向（前年同月比）の推移（DI図）



業種 \ 項目	景況	売上	収益	資金
製造業	-22%	-19%	-14%	-19%
非製造業	-22%	-27%	-19%	-19%
総合	-22%	-23%	-16%	-19%

製 造 業				
項目 業種	景況	売上	収益	資金
食料品				
繊維・同製品				
木材・木製品				
紙・紙加工品				
出版・印刷				
化学・ゴム				
窯業・土石製品				
鉄鋼・金属				
一般機器				
電気機器				
輸送用機器				
製造業その他				

非 製 造 業				
項目 業種	景況	売上	収益	資金
卸売業				
小売業				
商店街				
サービス業				
建設業				
運輸業				
その他				

【凡例】



快晴

基準(DI値) 30以上



晴れ

10以上～30未満



曇り

-10以上～10未満



雨

-30以上～-10未満



大雨

-30未満

【天気図の見方】 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

【お問い合わせ先】

兵庫県中小企業団体中央会

担当：事業部 情報企画課

TEL：078-331-2045

【全国版の月次景況調査について】

全国中小企業団体中央会が毎月20日頃に公表しています。

詳細は下記URLをご覧ください。

<http://www.chuokai.or.jp/keizai.aspx>